

平成30年度 第1回生駒市スポーツ推進審議会
会議録（要旨）

日時 平成30年7月25日（水）午後3時30分から
場所 コミュニティセンター206会議室

◎ 出席委員（敬称略）

池田誠也、上田 薫、浦井善宏、岡本 洋、下宇宿勲、城山ゆかり、竹内幸子、西森禮子、
藤尾清司、増田順子

（事務局）教育長、生涯学習部長、スポーツ振興課長、スポーツ振興課長補佐、スポーツ振興課主査

内容

1. 辞令書交付
2. 教育長挨拶
3. 案件
 - (1) 役員の選出について
 - (2) 平成30年度スポーツ推進審議会事業計画（案）について
 - (3) 平成30年度社会体育主要事業計画等について
 - (4) 生駒市教育大綱について
 - ・教育大綱アクションプラン（案）（スポーツ振興課所管分）について
 - (5) 生駒市スポーツ推進計画進行管理について
4. その他

案件内容

- (1) 役員の選出について

<事務局>

案件（1）役員の選出についてを議題とします。

<事務局>

会長、副会長の選出については、生駒市スポーツ推進審議会条例第6条第2項の規定で互選により定めることになっていますが、互選の方法についてご意見は。

<委員>

今回はどのようにしたか。

<事務局>

生駒市体育協会選出の池田委員に会長をお願いしていました。

また、副会長は会長指名により選出いただいていたいました。

<委員>

会長は今までどおり体育協会の池田さんに、副会長は会長の指名ということでどうか。

<事務局>

会長は今までどおり体育協会の池田委員に、副会長は会長の指名という意見がありましたがよろしいでしょうか。

<委員>

[異議なし]

<事務局>

それでは池田会長、会長席をお願いします。会長からご挨拶を。

<会長>

[挨拶]

<事務局>

続きまして副会長は会長の指名により選出いたします。池田会長、指名をお願いします。

<会長>

浦井委員を指名します。

<事務局>

副会長は浦井委員とのことでよろしいでしょうか。

<委員>

[異議なし]

<事務局>

それでは浦井副会長、副会長席をお願いします。副会長からご挨拶を。

<副会長>

[挨拶]

※会長急用のため退席

<事務局>

議事については、スポーツ推進審議会条例第7条第1項の規定により「会長が議長となる」ことになっていますが、会長が急用のため退席されましたので、副会長に議事進行をお願いします。

(2) 平成30年度スポーツ推進審議会事業計画(案)について

<副会長>

それでは、案件(2)「平成30年度スポーツ推進審議会事業計画(案)」について事務局から説明を。

<事務局>

「平成30年度スポーツ推進審議会事業計画(案)」について説明

<副会長>

スポーツ推進審議会事業計画(案)について、事務局から説明がありましたが、何かご意見、ご質問は。

<委員>

[質問なし]

(3) 平成30年度社会体育主要事業計画について

<会長>

案件(3)「平成30年度社会体育主要事業計画」について、事務局から説明を。

<事務局>

「平成30年度社会体育主要事業計画」について説明

- ・「市・市教育委員会主催事業」(市民体育大会、市民体育祭、ファミリースポーツの集い、体育館無料開放事業、スポーツ教室、メダリスト招聘事業等)についてご説明
- ・「学校体育施設開放事業」について説明
- ・「スポーツ推進委員事業」(事業計画)について説明
- ・各体育館施設別利用件数・利用者数について説明

<副会長>

ただいま事務局より説明がありましたが、何かご意見、ご質問は。

<委員>

7月、8月は非常に高温状態がつづくが、WBGTが危険な数値を超えたらどう対処するのか。

<事務局>

中止という判断まではしていません。屋外で予定していた事業であっても屋内でできる分は屋内で実施したり、こまめに休憩や水分をとっていただいたり、やり方を変えて実施しています。

ただ、今年の急激な気温上昇に対策が追いついていないのが現状です。

体育施設の無料開放については、随時募集の為、周知の方法がホームページくらいしかありません。直近の無料開放では、この暑さで参加者が非常に少なかったと聞いていますので、参加者自身も考えていただいているようです。

無料開放事業を主管していただいている指定管理者は、緊急マニュアルを用意しています。また、事務所や会議室を使って、冷房の効いた休憩室を用意する等の対応をしています。

管理者は救急対応の講習等も受けてもらっていますので緊急時には対応できるようになっていますが、今後の課題として検討していきます。

<委員>

プールについてはどうか。

<事務局>

イモ山公園プールと滝寺公園プールの監視については、生駒市体育協会が専門業者に委託しており、きちんと対応してもらっています。担当課としても、毎年、現地視察を行っていますので、現地の状況を見て今後の対応を考えさせていただきます。

<副会長>

他に何かご意見、ご質問は。

<委員>

今年も障がい（児）者スポーツ活動支援事業を実施していただき感謝する。参加者の子どもたちも非常に喜んでいて、2点お願いがある。1つは、事業の参加者は子どもが多く、成人が少なかった。成人の方の参加が増えるように周知してほしい。

もう1つは、行事に参加した人が参加した競技に興味を持ったときに、どこに行ったらその競技ができるのかわからない。総合型地域スポーツクラブ等の関係団体とも連携して、ここに行けばその競技ができるというように、次につながるように考えてもらいたい。

<事務局>

障がい者スポーツについては、市内の作業療法士に相談し、市でプログラムを作成して、障がいの種別など、それぞれに合わせたプログラムを指定管理者や総合型地域スポーツクラブの事業として広めていければと考えています。まだ、始めたばかりですが、今後の方針等が決まればお知らせいたします。

（４）生駒市教育大綱について

<副会長>

続きまして、案件の（４）「生駒市教育大綱」について、事務局から説明を。

<事務局>

「生駒市教育大綱について」について説明

「平成30年度生駒市教育大綱アクションプラン(スポーツ振興課所管分)」について説明

<副会長>

ただいま事務局より説明がありましたが、何かご意見、ご質問は。

<委員>

平成30年度生駒市教育大綱アクションプランのスポーツ振興課所管分でトップアスリート連携事業について説明があったが、トップアスリートはどのような選手を呼んだのか。

<事務局>

元Fリーガー長本大将さんをお迎えしてのフットサル教室、チャリログ生駒にゲスト出場していただいたプロサイクリングチームのシエルヴォ奈良さん、大相撲浅香山部屋さんが、くろんど荘を春場所の

稽古場に行っている関係で、ちびっこ相撲体験会と力士とのちゃんこ会席を開催しました。

また、プロレス団体ドラゴンゲート所属の土井成樹選手のトレーニング教室を開催する予定でしたが、台風の影響で中止になりました。

指定管理者ではTACきらめきが、昨年度は、北京オリンピック等で活躍した水泳の柴田隆一さんを、今年度は、パラリンピック水泳で金メダリストの成田真由美さんをお招きしイベントを開催されました。

<委員>

今年が目玉は何か。

<事務局>

平成30年度はレスリングのナショナルチームコーチ、ロンドンオリンピック銅メダリストの湯本進一さんをお招きして、レスリング教室の開催を予定しています。

オリンピックに向けての事業として、東京オリ・パラ組織委員会の東京2020参画プログラムがあります。参画プログラムに登録すると、応援プログラムのマークが使えます。これは、自治会の事業や体育協会の事業でも可能です。また、企画段階ですが、どんどこまつりで東京五輪音頭を踊っていただいたり、図書館でオリンピック関係の本を特集してもらおう等を考えています。来年もオリンピック関係でアスリートと呼びたいところですが、来年はラグビーワールドカップがありますのでラグビー関係でトップアスリートの招へいを考えています。あとは、駅前でのパブリックビューイングも案として考えています。ただ、生駒市出身の選手がいないところが課題です。

また、フラッグツアールで8月20日に1日だけオリンピック・パラリンピックの旗を展示します。他には、聖火ランナーに生駒を通過していただくとか、児童生徒に応援メッセージや演奏をしていただくとか、市民体育大会開会式で理事者にオリンピックの法被を着ていただくなど、地域の方々にオリンピックを意識していただく事業を考えています。パラリンピック関係の事業も何かできればと考えていますので、委員の皆様で何かいい案があればご意見をいただきたいと思っております。

(5)「生駒市スポーツ推進計画進行管理」について

<副会長>

続きまして、案件の(5)「生駒市スポーツ推進計画進行管理」について事務局から説明を。

<事務局>

生駒市スポーツ推進計画進行管理について説明

<副会長>

ただいま事務局より説明がありましたが、何かご意見、ご質問は。

<委員>

[質問なし]

4. その他

<副会長>

続きまして、4. その他・障がい(児)者スポーツ活動支援事業について、事務局から説明を

<事務局>

平成29年の障がい(児)者スポーツ活動支援事業について説明

<委員>

温水プール開放事業では、私もスタッフとして参加し、アクアビクスをしたが、障がい者向けは初めてだったので手探りだった。プールに足のつかない子どもや、集中力が続かず途中でやめてしまう人などがいて難しかった。

<委員>

スポパにいこうでスタッフとして協力したが、色んな道具を持っていった。楽しくできた。このような事業が毎月できればいいと思う。

<事務局>

平成29年度障がい（児）者スポーツ支援事業用備品について説明

<事務局>

平成30年の障がい（児）者スポーツ活動支援事業について説明

<委員>

温水プール開放事業で泳ぎ方教室をしたが、水に顔をつけたり、もぐったり、呼吸したり、泳ぎ方を教えるだけでも、すごく楽しそうだった。

<事務局>

一般の方の中に入ると落ち着かない人もいます。その中で現在は、ご家族と障がいのある方のみで事業をさせていただいており、ご好評をいただいています。もう少し人数が増えても大丈夫そうなので、地に足を付けた形で事業を進めていきたいと考えております。

<事務局>

平成30年の障がい（児）者スポーツ支援事業用備品についての説明

<副会長>

委員の皆様から何かありませんか。

<委員>

一般の人がいるとそんなに参加しにくそうなのか。

<事務局>

最終的には事業のバリアフリー化を行い一般の人と障がい（児）者とが一緒に参加できればと考えていますが、障がい者団体等に聞き取り調査をさせていただいた時に、一般の人と分けて障がい者のみで事業をして欲しいとの要望をいただきました。実際に、一般の方と一緒にになるとペースを乱されるようです。40～50人しかプールにいない時でも、人数が多いと感じられて少し遊んで帰られたお子様もおられました。人数が多いのが苦手な方もおられるようです。

<委員>

事業をすぐに実行しているところはよいと思う。

<委員>

南地区では、南地区運動会を4月29日にしている。その他にもソフトボールやグラウンド・ゴルフ、ゲートボール大会などを開催している。障がい者スポーツは、軽スポーツが中心だと思うが、将来的にはパラリンピックなどに出場できるような人は輩出されるのか。

<事務局>

スポーツ振興課としては、日常生活の中で自ら進んでスポーツをしていただくようになってもらいたいと考えています。今のところは福祉の範囲でしか事業が出来ていませんが、将来的には競技大会を開催するなどし、障がい者の人に自ら進んで参加してもらえようようにしていきたいと考えています。

<委員>

障がい（児）者スポーツ支援事業はまだ始めたばかりなので、県の事業との整合性と指導者の育成も考えて欲しい。

<事務局>

総合型地域スポーツクラブ「いこ増ッスルクラブ」の説明をしていただけますか。

<委員>

いこ増ッスルクラブは、スポーツ振興くじ助成金の助成期間が終了し、今年度から自主運営になった。年会費以外に、事業ごとの参加費は1回500円程度。体験会もあるので、事業にもっと参加してもらえよう周知や啓発をしてもらいたい。会員は、子どもの会員が多く、一般の会員はなかなか集まらない。

<事務局>

総合型地域スポーツクラブについては、市も教育大綱アクションプランに掲げており、今後も活動を支援していきたいと考えています。また、地域の皆さまに総合型地域スポーツクラブの良さをわかっていただき、もっと地域とのつながりを持っていただけるよう働きかけをしていかなければならないと考えています。今後もさらに周知させていただこうと思います。

<委員>

スポーツをする環境は今や、いろいろな選択肢がある中で、総合型スポーツクラブがあるのは素晴らしい。これからは総合型クラブがないといけないと思う。今後どのように進めていくのか。

<事務局>

今後の日本のスポーツ推進は総合型スポーツが中心となっていくと思います。

しかしながら、そうなるにはまだ年数がかかるとお思いますので、市内各クラブと連携し進めていこうと思っています。

<委員>

現在、学校部活動は週2日休まないといけないことになっているので、その代わりに地域でスポーツをする案はどうか。

ここ4、5年で部活動の位置づけが変化している。指導者の高齢化もあり、指導者の人数も減少してきている。その受け皿として総合型地域スポーツクラブに担ってもらえればと思う。

<事務局>

学校部活動の指導者としての謝礼はボランティア程度でと要望されていると思いますが、総合型地域スポーツクラブは経営感覚を持って活動しているので謝礼額の部分で差があります。

学校の先生方が熱意をもって部活動をやっていただいている中で、この部分をどう埋めて行くのが課題だと思います。

<委員>

野球やサッカーなどの学校部活動は1校だけでは成立しなくなってきている。

地域を絡めていかないと今後の運営は難しい。

しかし、保護者からすると学校に担ってもらいたい。学校だと安心感がある。

<事務局>

学校部活動は、50年以上の歴史があり、日本は学校体育の中で競技力を高めてきました。

それを10数年くらいで急に地域で学校の部活動をといわれても難しいものがあると感じています。

委員の皆さまのご意見をいただいて、市でできる部分は進めて行きたいと考えています。

<委員>

私も以前、学校の部活動を担当していた。学校部活動を地域が担ったらよいのではないかと考えていたが、部活動に総合型地域スポーツクラブを利用すると、事業ごとにクラブ会費が発生する。

また、保護者も学校内での活動だと安心感がある。

その点で、総合型地域スポーツクラブに学校部活動の指導者を担ってもらうのは難しい。また、学校部活動は、スポーツがしたい全ての生徒の受け皿として必要ではないかとも思っている。

<副会長>

その他、委員の皆様から何かありませんか。

<委員>

「特になし」

<副会長>

なければこれで平成30年度 第1回スポーツ推進審議会の議事を終了します。